



市報

ちよふ

CONTENTS(主な内容)

新型コロナワクチン.....	4
洪水・内水ハザードマップを作成.....	4
令和6年二十歳のつどい実行委員の募集.....	5
調布市応援アスリートになりました.....	10

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

市役所代表：☎042-481-7111

市報ちよふの配布に関する問い合わせ
市報ちよふ配布コールセンター(配布受託業者(株)小平広告)
☎042-300-3131

4月1日から

ヘルメット着用が
努力義務に！

大人も
子どもも

🚲 5月は自転車月間

交通ルールと マナーを守ろう

自転車での交通事故が増加しています。
自転車を利用する際は、交通ルールを守り
歩行者やほかの車両に配慮して
安全に利用しましょう。

問交通対策課☎481-7454 調布警察署☎488-0110

続きは2・3面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 419



耐え忍んだあとは

市内公立中学校の卒業式と入学式に参列した。コロナ禍のため、4年振りの出席となる。期待と不安が交錯する生徒たちの表情は、一見コロナ以前と何ら変わらぬようにも感じられた。しかし、この3年間の困難な経験を通して、実際はどのような心境だろう。これからの新生活こそは順調であるようにと強く願わずにはいられない。

卒業生にとっては、貴重な中学校生活全体が、新入生にとっても小学校の後半3年間がコロナの蔓延期と重なってしまった。この間、全国民がさまざまな生活上の制約を強いられたわけだが、とりわけ成長期の生徒、児童にとり、学業やクラブ活動を始め生活全般に大きな影響が生じたことは誠に気毒だった。楽しみになっていた各種行事が中止になったばかりか、時には単なる友達との有意義な時間の共有すらままならなかった。そんな状況下での彼らの心情は察するに余りある。思わず「よく頑張ったね。我慢したね」と声をかけてあげたくなる。

5月8日に、政府はコロナの感染法上の分類を季節性インフルエンザと同じ5類に変更する予定だが、そのことが日常生活に及ぼす影響については慎重に推移を見守りたい。

一部には、今後また多少感染者数が増加するとの観測もあるようだが、感染予防にはこれまで通り最善の対策を講じた上で、3年間実施できなかった心躍しいイベントを可能な限り再開したいと考えている。その中で、長い間耐え忍んできた子どもたちの弾けるような笑顔に接することができれば幸いなのだが。

調布市役所
友友貴樹